

「水都おおさか森林の市2014」参加

平成26年10月5日(日)台風18号の接近で悪天候が懸念される中「水都おおさか森林の市2014」が近畿中国森林管理局と毛馬桜之宮公園の両会場(大阪市北区)において開催され、当研究所関西支所、関西育種場及び近畿北陸整備局(京都市)が合同でブースを設けて参加しました。

この「森林の市」は、森林の恵みや、木に触れることで、森林と人とのつながりを実感し、森林・林業の役割と意義、農山村の現状について理解を深め、豊かな森林資源を次世代に引き継いでいくことを目指しており、今年は、「木の魅力 木の不思議 桜ノ宮で森林(もり)を感じて!」をテーマとして開催されました。

当整備局では、毛馬桜之宮公園の会場で事業紹介パネルの展示、樹木に関する漢字クイズ、どんぐりと松かさを材料にクラフトづくり及び丸太切りのコーナーを設けました。

当日は、幸いにも心配された雨も降らず、曇り空ながら150名ほどの多くの皆様に私たちのブースへ足を運んでいただきました。クラフトづくりや丸太切りコーナーでは、子供連れのご家族を中心に楽しんでいただき、順番を待っていただくほどの大盛況でした。

あいにく、午後の天候急変に備え15時にイベント終了となりましたが、都市部の多くの市民の皆様が、森林の恵みや、木に触れることで、森林と人とのつながりを実感していただけたのではないかと思います。そして各コーナーでの、子ども達の歓声や笑顔と「ありがとう」の一言や、イベントを終えた帰り道に、お母さんと手をつなぎ、当整備局のコーナーで作ったクラフトを大事に抱えて歩いているお子様の笑顔を見かけたときに、今日一日の心地よい疲労感と充実感を覚えました。



【松かさ・どんぐり人形作り】



【丸太切り】